

# まつかわ

第7号

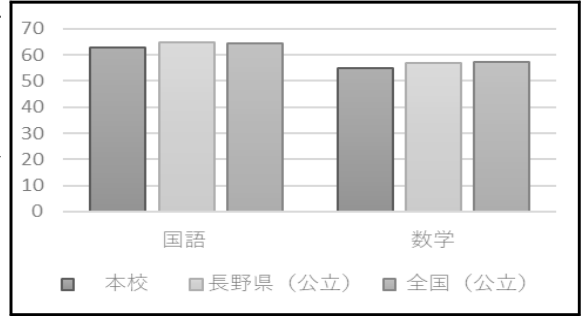
## 学力向上に向けて

～ 全国学力・学習状況調査の結果より ～

本年度実施しました全国学力学習状況調査に関して、中学校での分析結果に関する特徴的な部分について報告します。課題をもとに今後の支援や授業改善にいかしていきたいと思ひます。

### 1 松川中学校の平均正答率と長野県平均・全国平均と比較 領域、評価の観点での比較

国語、数学共に全国平均より若干低めですが、ほぼ同程度の数値とみることができます。領域別に見ると、国語では「読むこと」が全国平均より－8下回りましたが、他は同程度で、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は高くなりました。数学では「資料の活用」は全国平均より高くなりましたが、「数と式」「図形」は説明する設問の正答率が低く、－4程度下回りました。国語・数学共に自分の考えを書いたり、説明したりする記述式に課題が残りました。



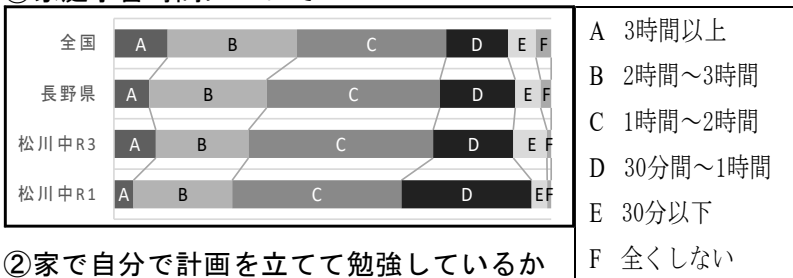
これらの結果から見えてきた課題に対して、どの学年でも授業の中で、問題や資料から正しく情報を読み取り、対話を中心として自分の考えを表現する学習活動を設定しながら指導を行っていきます。

### 2 生徒質問紙から見えてきたこと

全国学力学習状況調査では、学習や生活に関して、様々な視点から生徒に質問をしています。本校の学習の実態を分析して方策を立てるには、この質問紙結果も大変重要です。質問項目は、経年では若干の変化がありますが、学習習慣、学習意欲、生活習慣などの項目について考えてみました。

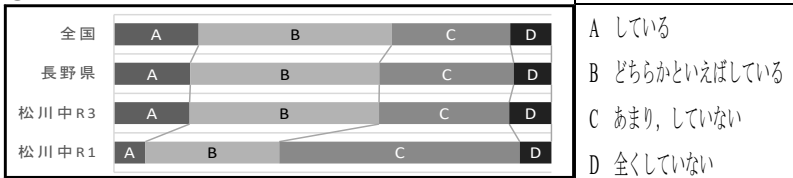
#### (1) 学習習慣 ～松川中学校が苦手としてきたこと 経年経過～

##### ① 家庭学習時間について



本校の課題となっていた①「家庭学習時間」②「家で自分で計画を立てて勉強する」については、昨年度からSDノートによる取り組みが始まり、令和元年度から大幅に回復が見られました。また、全国や県平均と比較してみると、学習時間が2～3時間の人は少ないですが、3時間以上と2時間～30分は多めという結果となり、全体的にみると良い傾向が見られます。

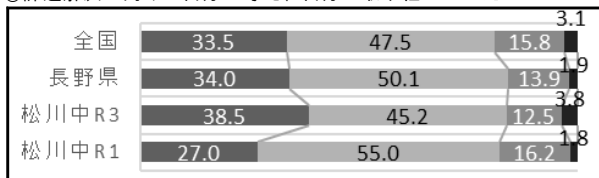
##### ② 家で自分で計画を立てて勉強しているか



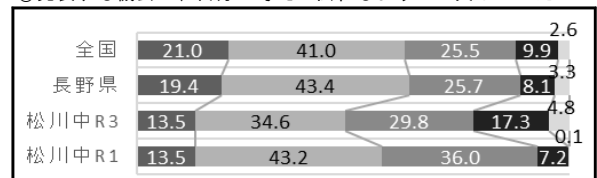
ただ、自分で計画して勉強しているかについては、まだ全国より若干少なく、継続して課題意識を持って取り組んでいく必要があります。

#### (2) 教科指導～松中スタンダードを通して～

##### ③ 課題解決に向けて自分で考え、自分で取り組んでいたか



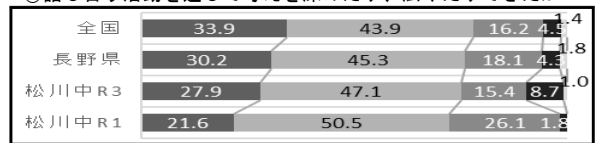
##### ④ 発表する機会に、自分の考えが伝わるように工夫していたか



左から【当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない、その他】

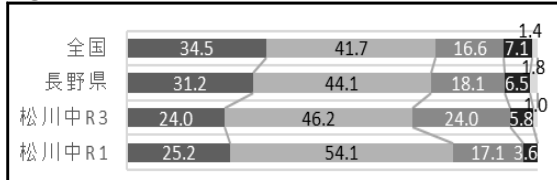
③から、生徒自身が課題の解決に向けて取り組む意識は、他と比較して高いことがわかります。反面④の自分の考えを発表する機会に工夫して発表していたかを見ると低くなっています。また、⑤の生徒間で話し合う活動は、県、全国に比べると若干低いですが、令和元年度からは向上していることが分かります。今後も松中スタンダードで対話する機会を増やし、発表し合う活動を継続して取り組んでいくことで、さらに「自らの考えを表現できる生徒」が増えていくことが期待されます。

⑤話し合う活動を通じて考えを深めたり、広げたりできたか

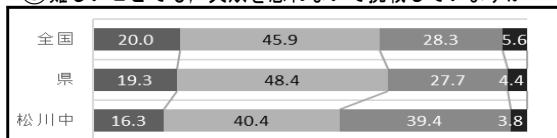


### (3) 自己理解、生活習慣について

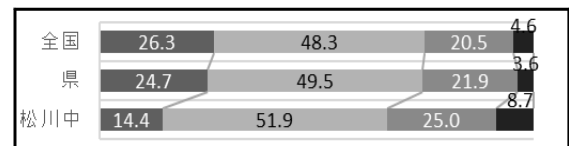
⑥自分には、よいところがあると思いますか



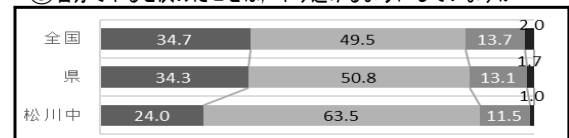
⑧難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか



⑦学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

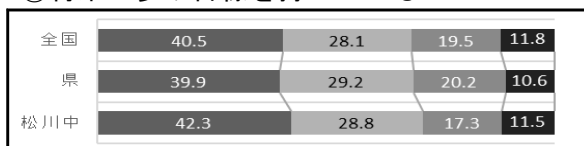


⑨自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか



上のグラフの⑥「自分によいところがあるか」と⑧「失敗を恐れなくて挑戦」は、全国や県と比較して低くなっています。また、⑨を見ると「どちらかといえばやり遂げたい」という気持ちはありますが、⑦からは、「自分の行為を見直して次につなげること」は弱いということが分かります。これら結果から、自己を見返しながら、安心して自己表現ができる学習集団づくりの必要性を感じます。「教師の3M（生徒の良さを見つけ認め見とどけて）を大切にしながら、お互いの多様性を認め合うことができる集団」づくりを、さらに進めていきたいと思えます。

⑩将来の夢や目標を持っているか



⑪学校に行くのは楽しいか

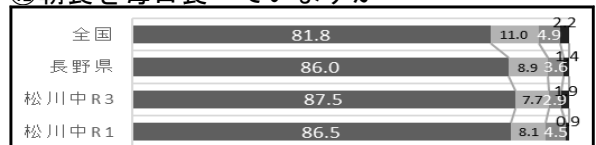


左から【当てはまる、どちらかといえば当てはまる、どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない、その他】

グラフ⑩、⑪を見ると、コロナ禍により昨年度から職場体験学習ができない状況が続いていますが、しごと未来フェアなどの代替りのキャリア教育、進路学習等の成果もあり、将来の夢や目標を持っている生徒が全国や県より高くなっていることが分かります。また、学校に行くことを楽しいと感じている生徒も多く、この傾向を継続できるように支援し、「夢や目標に向かって努力できる生徒」の育成をさらに目指していきます。

⑫の朝食を毎日食べるか等の生活習慣を問う設問については、県や全国と著しい差異はなく、むしろよい傾向が続いています。全体としても大変よい状態であるため、継続してほしいと思えます。

⑫朝食を毎日食べていますか

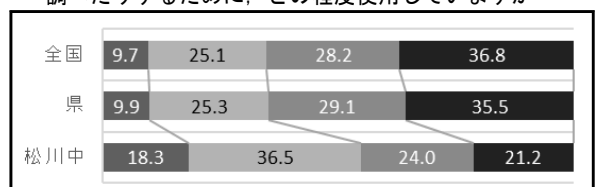


## 3 今年度、力を入れて取り組んでいること、いきたいこと

### タブレットやパソコンなどICT機器の積極的活用

1人1台の学習用タブレットの貸与、持ち帰りが始まりました。生徒自身がICT機器を使用する場面も増えてきています。タブレットを活用し、生徒が主体的に学ぶことができる場面を増やしなが、あわせてメディアリテラシーについても繰り返し学び、安全に正しく使用できるような生徒の育成を目指します。

⑬学校でICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか



左から【ほぼ毎日、週1回以上、月1回以上、月1回未満】